

整備・公表が進む将来降雨の予測モデル

整備・公表が進む将来降雨の予測モデル

	約20年の計算		長期アンサンブル計算	
公表年	RCP2.6	RCP8.5	RCP8.5(2℃上昇)	RCP8.5(4℃上昇)
H27年	21世紀末における日本の気候 【環境省・気象庁】 解像度: 20km ※RCP4.5、RCP6.0も計算			d4PDFデータ
H28年				気候変動リスク情報 創生プログラム 【文科省】 解像度: 20km
H29年		気候変動リスク情報 創生プログラム 【文科省】 解像度: 5km、2km		 ダウン スケーリング
H30年	統合的気候モデル 高度化研究プログラム 【文科省】 解像度: 5km、2km		d2PDFデータ 気候変動適応技術 社会実装プログラム(SI-CAT) 【文科省】 解像度: 20km  ダウン スケーリング	気候変動適応技術 社会実装プログラム(SI-CAT) 【文科省】 (北海道大学) 解像度: 5km 北海道・九州地方 (JAMSTEC等) 解像度: 5km 北海道・沖縄地方を除く全国
今後 公表予定			気候変動適応技術 社会実装プログラム(SI-CAT) 【文科省】 (北海道大学) 解像度: 5km (気象研等) 解像度: 5km	